



2009年1月28日

各 位

会 社 名 イオン北海道 株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 植村 忠規
(コード番号 7512 東証1部・札証)
問 合 せ 先 取締役執行役員
経営管理本部長 天廣 俊彦
(TEL 011-865-9405)
当社の親会社 イオン株式会社
取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号 8267 東証1部)

2009年2月期業績予想の修正に関するお知らせ

2008年10月8日に公表した2009年2月期(2008年3月1日~2009年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

2009年2月期通期連結業績予想数値(2008年3月1日~2009年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	163,000	2,300	1,400	2,300
今回発表予想(B)	163,000	2,300	1,400	2,100
増減額(B-A)	-	-	-	4,400
増減率(%)	-	-	-	-
(ご参考)前年同期実績	147,594	2,362	1,383	3,585

2. 個別業績予想数値の修正

2009年2月期通期個別業績予想数値(2008年3月1日~2009年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	163,000	1,900	1,400	2,290
今回発表予想(B)	163,000	1,900	1,400	2,110
増減額(B-A)	-	-	-	4,400
増減率(%)	-	-	-	-
(ご参考)前年同期実績	147,594	1,863	1,354	3,588

3. 業績予想修正の理由

2007年8月以来、株式会社小樽ベイシティ開発から札幌地方裁判所に申し立てられた特定調停手続を通じて、当社が小樽ベイシティ開発に対して有する別除権付債権の支払い方法について協議をおこない、2008年3月24日付にて支払に関する中間合意をしました。しかしながら、株式会社小樽ベイシティ開発からはその後中間合意に基づく弁済の履行がなされず、2009年1月23日に札幌地方裁判所に対して上記特定調停手続の取下げ書が提出され、本日、札幌地方裁判所より取下げ書の送達を受けましたので、業績予想の下方修正を致します。

今回の44億円の下方修正に関しましては、当期で計上する予定であった貸倒引当金戻入益の計上をやめること及びそれに伴う税効果会計による繰延税金資産を取り崩したことにより、業績予想を減額するものです。

なお、本件による当社の親会社であるイオン株式会社が1月7日に開示致しました連結業績予想に特段の影響はありません。

上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上